

「村らしさ」を失うことなく集落の維持へ取り組む

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県北津軽郡中泊町今泉 <small>きたつがるくちゅうなかとまりまち いまいずみ</small>			
協定面積 16.2ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻	—	—	—
交付金額 103万円	個人配分			50%
	共同取組活動分 (50%)	集落の各担当者の活動に対する経費		10%
		集落マスタープランの将来像を実現するための活動に対する経費		8%
		集落の共同取組活動に要する経費		16%
農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費		16%		
協定参加者	農業者 24人			

2. 集落マスタープランの概要

本集落は高齢化、後継者不足が進み、農用地の保全確保が懸念されていましたが、この制度を活用し、協定参加者を中心に、非農家とも協力しながら「村らしさ」を失うことなく集落の維持をしていくこととした。

そのために、古くから伝承等が行われてきた集落のよりどころである今泉「賽の河原」を保存し、伝統を後世に伝え、更には、集落外から訪れる大勢の人たちが、快くすごせるよう環境の美化にも取り組むこととしている。また、自然資源の確保・保存のためイワナ等の放流を継続し生息できるよう環境づくりにも努める。

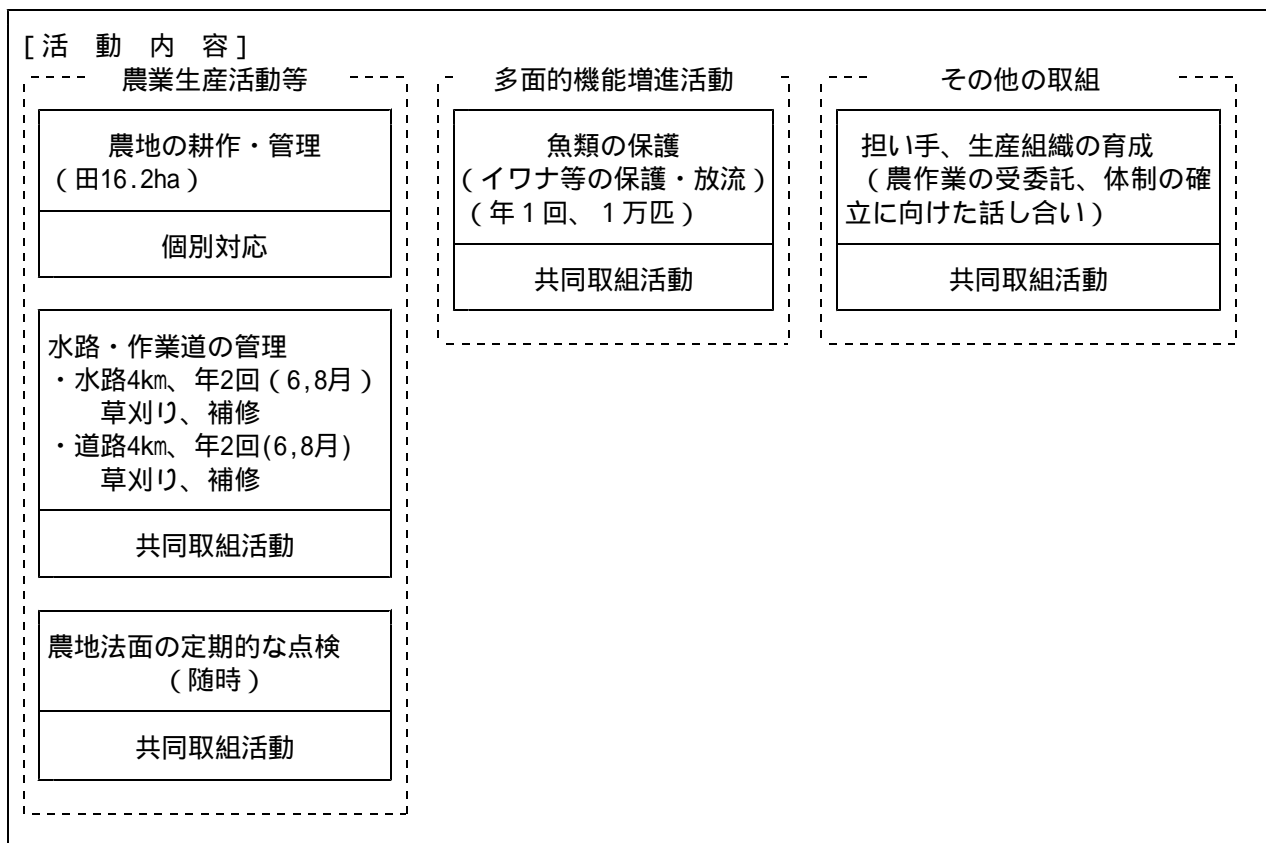
農業生産面では、基幹農道等の維持管理のため共同作業を実施するほか、集落の農用地保全のための農作業の受委託を受ける担い手、生産組織の育成に取り組み、今後5年間の活動、また更に5年後も同様に活動を継続するため、集落の活性化を図り、次世代へ引き継いでいくために合意し協定に至った。



自然保護呼びかけの看板設置



イワナの放流



3. 取り組むべき事項の活動内容

前対策では、農道・水路の維持管理を主として取り組み、営農の継続が確保されたことから、今後は話し合いの機会が増えたことから、労働力不足への対処するための担い手、生産組織の育成に向け話し合いを設け、農作業の受委託の推進、受け入れ体制の確立率等に努めることとしている。



農道の草刈り



農道の補修作業

[平成21年度まで取り組む目標]

主要農道・水路の維持管理のための共同活動

農道4km、水路4kmの草刈り、補修。

自然資源の維持保護活動(イワナ等の放流・イワナ等の生息確認)

年1回1万匹を放流。年1回生息調査確認。